

優秀な人材確保へ、県の採用改革

公明党 鈴木ひでし

このたび、4期目の負託を頂きました。今任期も初心である「政治家は実績で勝負」は決して変わりません。今後も数多くの実績を作っていきます。

抜本的な見直し提案

県は多彩な人材を確保するため、今年度から職員採用試験の内容を見直し、秋季試験を新設しました。

現代において、社会・経済情勢は刻々と変化し、それに伴う行政課題などは山積しています。そんな中、

こうした、目まぐるしく変わる課題に対し、的確に対応できる優秀な人材が、県にも必要となつていきます。

そこで私は、昨年2月の本会議で、人材確保の観点から、「職員採用試験のあり方を抜本的に見直すべきではないか」と提案。実を結んだ形となりました。

このタウンニュースでは、県政報告として、作ってきた実績などを定期的に報告させていただきます。

現代において、社会・経済情勢は刻々と変化し、それに伴う行政課題などは山積しています。そんな中、

そこで私は、昨年2月の本会議で、人材確保の観点から、「職員採用試験のあり方を抜本的に見直すべきではないか」と提案。実を結んだ形となりました。

秋季試験を新設

見直しの目玉は、秋季試験の新設です。

海外に留学していた学生や、民間企業への就職志望者、資格試験受験者などが

受けやすい10月に、行政職と総合土木職を採用する1次試験を実施します。

試験内容も、行政職の基礎教養試験では、経済や法律などの知識分野に加え、文章理解や判断推理などの知能分野を重視。専門試験はなく、特別な経験や資格取得などの評価書となる自己PRシートを活用する。また、総合土木職の1次はより専門的な知識を要する試験へと変わります。

一方、これまでの採用試験も見直され、与えられた課題の解決に向けた共同作業を評価する「グループワーク試験」を導入するなど、実践的な試験で優秀な人材を確保する動きが進むこととなります。



2003年神奈川県議会議員初当選。
公明党神奈川県本部副代表

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>

ml_suzuki-ctl@labo2.sere.jp